

右京うきょう 5/15

右京区シンボルマーク

市民しんぶん
右京区版

人口203,124人
男 96,331人
女 106,793人
世帯数92,651世帯
*平成25年4月1日現在の推計値

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/>



桐澤 孝男区長を先頭に区役所挙げて、「笑顔、親切、丁寧、テキパキ!」をモットーとした区民対応。そして、区民の皆様と力を合わせて「右京に住んで良かった!」と思えるまちづくりを進めます。

右京区役所 課長級以上職員一同

平成 25 年度右京区運営方針



「つながる人のわ」をキーワードに、豊かな自然、文化・伝統、大学・企業、さらには地域コミュニティといった右京ならではの地域資源を最大限活用して、新しい課題に積極果敢にチャレンジします。

1 地域コミュニティの活性化

「右京かがやきプラン」の推進を行うため、自治会・町内会などをはじめ、大学や商店街、企業、NP Oなど様々な主体を含めた**地域コミュニティの活性化**に重きを置いて、事業を企画、実行します。

2 マイナスをプラスに転換

地域住民が問題意識・危機意識を共有できる課題に対して区民などとの「共汗」によって取り組み、課題の解決にとどまらず、**身近な地域の魅力発信や雇用創出**といったプラスαの効果の発現を目指します。

3 共汗と融合

地域が自ら考え、提案し、行動する取組を支援し、「オール右京」の様々な主体の持つ地域力を引き出すため、「**右京区まちづくり区民会議**」を中心とした地域との「共汗」によるまちづくりを進めます。

同時に、区民と日常的に接する区役所発の施策を効果的・効率的に推進するため、**他区・本庁各局との事業の協働実施や、国・府の補助金の積極活用**など、各種施策の「融合」を行います。

4 事業の選択と集中

事業の企画立案に際しては「選択」と「集中」をこれまで以上に意識し、費用対効果および地域の自主性・自律性の促進の双方の観点から、**地域による自主運営への転換**などによって**事業見直し**を行い、財源やマンパワーを真に必要な事業に対して積極的に投下します。

5 自主財源の確保・活用

区民の参画と寄付文化の醸成を踏まえつつ、行政の限られた財源にとどまらず、「右京ファンクラブ」協賛金の活用などにより、自主財源の確保・活用を図ります。



平成25年度の右京区政が動きだしました。

まちづくりに対する区民の皆様への熱い思いにこたえられるよう、私も全力投球してまいります。ともに一層魅力にあふれる京都を築きましょう!

京都市長 門川 大作